

2月のギャラリー紹介

森山里子 食と花の器展

〈壺はつばみ・皿は花びら・鉢は咲いた花〉



森山芳美さん（左） 森山里子さん（右）

森山芳美 花・静物・風景

〈身近なものたちに心をよせて描く〉



板木在住で、日々創作活動を行っているお二人の作品を展示しています。

森山里子さんの作品陶芸13種、49点。

森山芳美さんの水彩画16点。

展示期間

2月1日～2月22日

土・日・祝日閉館

開館時間

午前9時～午後4時まで

暮らしを支えたわら細工

1月は、わらを編んで作った正月飾りや生活用品を集めた「わら細工展」を開催しました。

今では見かけるのも稀になったわら細工の作品大小40点を展示し、どんな風に使われたのか、実際に手に取ったり、また、身に着けたりして体験していただきました。

開催中は、多くの皆さまのご来場があり、感想も寄せられました。ここに紹介させていただきます。



90歳代の女性がワラジを手に取り「19歳の嫁入りする際に、ワラジの上に白い和紙を被せ、これを履いて嫁いで来たんだよ」と懐かしまれた。

友人から（わら細工の会の）
 教えてもらい来ました。色々な
 作品がていねいに作られてい
 すごいです!! この技術を次の世
 代にぜひ伝えてほしいと強く思
 います。どうか、わら細工を教
 えてくださる機会をもうけて頂
 けないでしょうか。津南町から
 来たのですが、市外の人も参加
 できるよう、場をもうけて頂き
 たいです。この作り手の方々か
 らお話をうかがったり、作っ
 ているところを見たいし、習い
 たいです。80代の方々3人で終
 わらせてしまうのは、もったい
 ないです。どうもありがとうございました!!

津南町在住女性



子どもたちが代わる代わるブウシ
 を被り、わら靴を履いて、わらの
 感触を楽しんでいました。

～中が暖かい～

米どころ・おらが地域のわら細工

伝統的なわら細工の“草履・敷
 物”を作る同好会に参加してみま
 せんか

新潟県は昔から稲作が盛んで
 あったこともあり、稲藁（いなわ
 ら）を使った様々なわら細工が盛
 んに行われてきました。今から約
 70年、80年位前までは、雪に
 覆われる冬の期間に、各家庭では
 家族総出で稲藁を使った草履（ぞ
 うり）や日常に使われる多様な
 品々を作り、その年に使うよう準
 備していました。

今となっては作れる人は大変
 貴重になり、藁を使った工芸品を
 見ることは少なくなっています。
 実際に草履を作るこのような体
 験も希少なものになってしま
 いました。

本プログラムでは、そんな草履
 や鍋敷き等を地域のわら細工名
 人と一緒に作ります。

作ったぞうりは、夏に川や海な
 どでサンダルとして履くことも
 できますし、ご自宅でのスリッパ
 やインテリアとしてもご利用い
 ただけます。

問い合わせや参加希望者は伊米
 ケ崎公民館792-0082まで

掲 示 板

「節分の云われは…」素朴な疑問を調べてみました

出典：フリー百科事典

節分（せつぶん、せちぶん）は、雑節の一つで、
 各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）
 の前日のこと。節分とは「季節を分ける」ことも
 意味している。江戸時代以降は特に**立春**（毎年2
 月4日ごろ）の**前日**を指す場合が多い。

太陰太陽暦（旧暦）では、立春に最も近い新月を
 元日とし、月（太陰）の満ち欠けを基準（月切）
 にした**元日**（旧正月）と、太陽黄経を基準（節
 切）にした**立春**は、ともに**新年**ととらえられてい
 いた。したがって、旧暦12月末日（**大晦日**）と立
 春前日の**節分**は、ともに**年越しの日**と意識されて
 いたことになる。今も節分を「年越し」「年取
 り」と呼ぶ地域があるのはこの名残である。

これからのイベント情報

- ◎ 酒井昭輝 絵画展
3月1日（水）～ 3月27日（月）
- 皆川捷巳 水彩画展
4月3日（月）～ 4月25日（火）
- 若井満知子 作品展
5月1日（月）～ 5月25日（木）
- ◎ 自宅で簡単筋力アップ術 3月10日（金）

伊米ヶ崎共和国ホームページに公民館だよりを掲載しています

伊米ヶ崎共和国ホームページをリニューアル致しました。
 活動報告や地域の紹介を中心に掲載いたします。
 多くの方のご観覧をお待ちしております。

URL <https://imegasakikyowakoku.net>

